

平成27年度 教育事業 教員免許状更新講習

- 1 趣 旨 教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊学習等を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いについて理解し、教育活動における体験活動の取り入れ方を講義や実習を通して修得する。
- 2 期 日 平成27年8月5日(水)～7日(金) 2泊3日
- 3 対 象 者 小中学校の教員及び同免許保持者
全日程を受講できる者
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 50人
- 6 指 導 者 人財科学研究所代表 工藤 智徳 氏
鹿兒島大学教育学部准教授 金子 満 氏
鹿兒島大学教育学部准教授 福満 博隆 氏
鹿兒島県立博物館学芸主事 内 祥一郎 氏
国立大隅青少年自然の家職員



7 日程と主な活動

8月5日 (水)	13:00 13:30		14:00		17:30 18:00 19:00			20:30 22:00		
	受 付	開 講 式 オリエンテーション	【実習・講義】 「体験活動を通じた 人間関係づくり」			休 憩	夕 食	【講 義】 「子供の現状と 課題」		入 浴
8月6日 (木)	8:30		14:30 15:00		18:00 19:00			20:30 22:00		
	朝 食	【実 習】 「自然体験学習の方法」 (万滝ハイキングの指導) 途中、昼食有り	休 憩	【実 習】 「自然体験学習の方法」 (野外調理の指導) 夕食を含む。	休 憩	【実習・講義】 「星座観察と 指導方法」		入 浴	就 寝	
8月7日 (金)	9:00		12:30 14:00		15:45 16:00					
	朝 食	【講 義】 「体験活動の意義と学習指導要領」 「体験活動における安全管理」 途中、休息有り	昼 食 ・ 休 憩	【評 価】 「履修認定試験」	閉 講 式	解 散				

8 事業運営について

今回の本事業運営については、次の点に留意してプログラムを立てた。

- (1) 選択領域18時間分が全て受講できるように、夏季休業中の2泊3日で日程を設定した。
- (2) 講習の内容は、子供たちの自然体験学習を安全かつ効果的に実施できるように、また教員が知っておくべき知識や技能を身に付けられるように、講義と実習のバランスに注意してプログラムを設定した。
- (3) 活動班は異年代で構成し、宿泊班は同年代で同室とし、交流の場や機会が増えるように工夫した。

9 事業の実際

- (1) 鹿児島県内だけでなく、隣県の宮崎県や熊本県からの参加者があり、情報交換の場では、それぞれの地域の実情等について活発な意見交換が行われていた。
- (2) 真夏日の中、野外活動時の注意事項に留意し、各活動班ごとにペースを考え、全員が万滝ハイキングに参加し、往復することができた。
- (3) 野外調理では、野外調理の際の注意事項に留意し、役割を分担して、楽しく実施することができた。
- (3) 「星座観察と指導方法」の時間には、突然雨が降り出し、望遠鏡を使った観察ができなかったが、室内で資料を基に望遠鏡や天文現象について学ぶことができた。
- (4) 「体験活動の意義と学習指導要領」では、実際の活動例を交えた上での講義であった。
- (5) 「体験活動における安全管理」では、実際の事故例を参考にした講義となり、参加者にとって身近に感じることができた。

10 成 果

参加者50人の約半数が50代であったが、講義や実習、野外での活動において事故やけががなく、終了することができた。

専門的な知識や技能を有する講師の方々の講義や実習等を通して、自然体験活動の指導者として必要な知識を習得することができた。

2泊3日で18時間分の講習であったが、参加者が講義等に集中して参加することができ、講習全体の満足度は非常に高かった。

宿泊を基本とした2泊3日の講習であったが、講義の内容や職員の対応等を含め、宿泊された参加者からは、「充実した2泊3日だった。」という感想が多く寄せられた。

